

そこは自然あふれる別世界

夏の長田谷津を歩く



ニホンカナヘビが遊歩道を横切り、バッタは草むらを跳ねる。

オニヤンマは音もなく悠々と空を飛び、ヒメギスはシュリシュリと鳴く……。

一歩足を踏み入れると、どこか遠くに来たような、自然あふれる別世界がここには広がっています。

目で見て、耳で聞き、歩く。それがこの長田谷津(大町公園)の一番の楽しみ方です。



ミソハギ

▲花の少ない真夏の長田谷津できれいに咲いています。



ツクサ

▲身近なありふれた野草ですが、満開になった群落は一見の価値があります。



ハッカ

▲葉っぱをもむと、ハッカのさわやかな香りがします。



森岡雅之さん、映美さん、雅輝くん

動植物園に行く途中に初めて寄ってみました。家の近くにはこんなに緑がないので、ここは緑があったり、見たことのない虫もいたりして、すごいですね。



ツリフネソウ

▲夏の後半、湿地のあちこちで群生して咲きます。



ツルマメ

▲夏の後半からツル草の花が目立ちます。小さなかわいいマメの花です。



カブトムシ

▲樹液が出ているクヌギでは昼間でも見ることができます。



ヒグラシ

▲夕方、カナカナという声の合唱が聞こえます。



ナナフシ

▲木の枝まわりに化ける忍者昆虫です。



アメリカザリガニ

▲園路沿いの流れをのぞきこむと、見つかります。



オニヤンマ

▲谷の上空を悠然と飛び、水路に降りてくることもあります。



アオスジアゲハ

▲炎天下、湿地に降りて水を飲むことがあります。

8月の長田谷津はオニヤンマが必見

8月は、何十ものオニヤンマが空を悠々と飛び姿、そして中旬になると谷の中に低く降りてきて、園路に沿って人の目線と同じ高さを行ったり来たりする姿を近くで見ることが出来ます。うまくいけば産卵シーンも見られますよ。

▲自然博物館 金子学芸員

自分で歩き、自分で見つける「8月のみどころシート」

シートは市公式Webサイトで配布の他、8月30日(日)まで自然博物館(月曜日休館)で配布
(答えは市公式Webサイトでご覧になるか、8月30日(日)まで自然博物館で掲示)

梅谷美羽さん

年に何回か来ます。冬は探検するのが好きで、夏は虫を見るのが好きです。今日はクモの巣や、青いトンボを見つけました。

稲垣宗慈くん

虫が好きで、初めて連れて来てもらいました。今日は、さつきカマキリをたくさん見つけたので、あとはカブトムシを見たいです。

長田谷津(大町公園) 散策マップ

三角池: カワセミなどの野鳥を間近で見られます。

湧き水の流れ: 1年中枯れることなく流れ、涼を体感できます。

あずまや: 散策の合間に、日陰で小休止できます。

自然博物館、動物園、有料駐車場(普通車500円/1日)、動物園バス停、プラネタリウム(少年自然の家)、ホタルの里、もみり山、バラ園、観賞植物園、フィールドアスレチック、入口

アクセス

- JR本八幡駅から京成バス
 - 動物園行きで「終点」下車すぐ(土・日・曜日のみ運行)
 - 大町駅行きで「駒形」下車 徒歩15分(常時運行)
 - 市川市霊園經由市川営業所行きで「大野町4丁目」下車 徒歩10分(常時運行)
- 京成線八幡駅から上記の京成バスを利用できます。
- JR市川大野駅から上記の京成バスを利用できます。
- コミュニティバス 北東部ルート 往復ルートの「動物園」下車 徒歩すぐ
- 北総線大町駅から徒歩5分
- ◆ 駐車場(動物園) 500台 有料(普通車500円/1日)

イベント

◆長田谷津散策会

- 8月1日(土) 午前10時(動物園券売所前集合)～11時30分
- ◆ 野草の名札付けをお手伝い車を利用の方は要問い合わせ。
- 8月2日(日) 午前10時(観賞植物園入口集合)～正午

問 ☎339-0477 自然博物館 ※いずれも荒天中止。

▶ 草花に詳しくない方も楽しめるよう、ボランティアの方が月1回名札付けをしています。